



地 盤 調 査



地盤の専門家 株式会社サムシング

目的にあった最適な調査方法が選べる

新型ボーリング調査 (地盤王ホリ・ススム)

サムシングが開発(特許第5021104号・技審証第2903号)した新型ボーリングマシン「VDボーリング(地盤王ホリ・ススム)」は自走式の調査機で、やぐらの設置や試験用水の準備が不要。従来型と同じく標準貫入試験や土質試験、液化化判定(FL法)、土壌汚染調査などに対応し、工期を短縮することができます。

調査機が小型(幅約1.3×奥行き約3.2×高さ約3.5m)であるため、従来型では対応が難しい室内や、狭小地でもボーリング調査ができ、N値20程度までの地盤をGL-20m程度まで掘削し、連続試料の採取が可能です。



従来型のロータリー式ボーリング調査も対応しており、全国各地の膨大な地盤ビッグデータを活用することで精度を高めています。

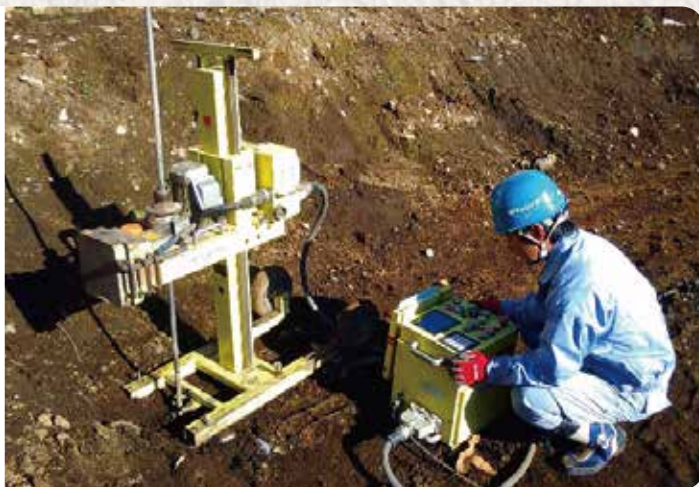


スクリーウエイト貫入試験(SWS試験)

※旧:スウェーデン式サウンディング試験

SWS試験は簡易調査で、多くの地点を試験することに優れており、地盤を面的に評価することができます。調査機は小型サイズ(幅約0.7m、奥行き約1.0m、高さ約1.5m)で、分解・組み付けも可能であるため、狭小地や高低差のある場所への搬入が可能です。

また、サムシングの膨大な地盤データを活かすことで、地盤を多角的に解析して精度を高めることができます。試験はフルオート調査機を使用するため、試験結果に個人差が生じず、リアルタイム閲覧機能によって試験後すぐに結果報告することが可能です。



平板載荷試験



平板載荷試験は、対象となる地盤に載荷板を設置し、そこに垂直荷重を与え、荷重の大きさと載荷板の沈下量との関係から地盤の強さを調べます。荷重を載荷する際には、反力荷重として、現場の重機(バックホー等)を用いることが一般的です。

試験結果から、極限支持力、降伏荷重を求め、地盤の許容応力度を算定することができます。

※小規模建築物の調査は、ミニパワーショベルを持ち込んでの対応も可能。



土壌汚染調査

土地売買に絡むトラブルを回避するため、売買前に土壌汚染調査を行うことを推奨致します。汚染が発覚した場合でも、土地の有効活用方法について様々なご提案をさせていただきます。調査メニューは、地歴調査、表層土壌調査、深度調査を用意しています。また、土木工事や建設工事などで発生した残土を受入れ場へ搬出する場合、各自治体が定める基準に適合しているかを調査する必要があります。各受入れ場に対応した建設発生残土調査を迅速に対応することが可能です。サムシンググループのアースプライム社が対応し、対応エリアは関東圏となっています。

サムシングだから実現できる

25拠点・全国で 対応可能



サムシングは全25拠点あり、地盤調査・改良・保証サービスが全国で対応可能。各拠点に営業・調査・施工管理・施工当事者が在籍し、必要な設備や機材も揃えています。

ICTの導入により、それぞれの拠点が密に連携することで、例えば、貴社事務所へ千葉支店の営業担当が伺い、山形の現場には山形支店の施工担当が伺うことも可能です。

確立された 調査フロー



サムシングでは洗練された地盤調査フローが確立されており、全国の拠点で同じ地盤調査を実施しています。膨大な地盤ビッグデータを活かした資料調査、現地では調査地周辺の地形の傾斜、隣接地の高低差、異常の有無、周辺住人からの聞き取りなどを行う周辺調査、そして調査機を使用した現地調査によって、精度の高い調査結果を提出することが可能です。取得データは、不正入力や改ざんできない環境へ保存しています。

Geo Web + Gooseシステム



サムシングが設立した1997年当時は、不正や改ざんを行う地盤業者が多く存在しました。そこでサムシンググループは地盤業界の透明化を目指すべく、Geo Webシステムを開発しました。

Geo Webシステムは、現場で取得した地盤調査データを、スマートフォンとインターネットを経由してGeo Webシステムサーバーへダイレクトに送信し、連携した報告書管理システムGooseで、保存、調査報告書を生成します。システム上、地盤調査データの不正入力や改ざんができない仕様となっています。

調査報告書を提出した後でも、貴社の地盤調査データは専用サーバーで適切に保管している為、必要であれば再度提出することができます。

わかりやすい 調査報告書



Gooseシステムを使用して地盤調査報告書が作成されます。調査結果、そして報告書は住宅地盤調査主任技士により全数を直接監理監修され、責任をもってご提示します。

また、地盤補強が必要と判定されれば、調査結果から最適な地盤改良工法もご提案させていただきます。

サムシングの地盤調査報告書は、お客様からお施主様に対して、地盤調査結果や地盤改良の必要性を、わかりやすくご説明しやすい形式となっています。

調査方法は8種類



サムシングでは、①小型から大型建築物まで調査可能な「標準貫入試験（ボーリング調査）」、②小規模建築物向けの一般的な地盤調査方法「SWS試験」、③擁壁や簡易建物の地盤調査方法「平板載荷試験」、④液状化を調べる「液状化判定」、⑤現場で採取した土試料の状態と性質を調べる「土質試験」、⑥地盤の水平方向の変形特性を調べる「孔内水平載荷試験」・透水性係数を調べる「現場透水試験」、⑦土地の汚染を調べる「土壌汚染調査」、⑧建設残土の調査「残土（建設発生土）調査」の8種類から最適な調査が選べます。

地盤調査・ 改良・保証



サムシンググループは、地盤調査・改良・保証をワンストップで提供しています。地盤改良では、最新の改良工法・柱状改良・表層改良・鋼管杭工法を複数種類取扱っており、建築物の構造や地盤状況に合わせて最適な16種類の工法から選択することができます。地盤保証は、サムシンググループのGIR社より『THE LAND』。保証建物や限度額に合わせて、お客様に適した地盤保証を選べるため、過剰な保証内容を防ぐことができます。

創業20年以上、上場企業のグループ会社としての信頼と 年間34,000件以上の調査・施工実績を有する企業です。

上場企業

上場企業のグループ会社としての信頼、信用に基づいた事業を展開しています。住宅地盤企業として初めて「地盤事故ゼロ」を標榜し、日々、地盤品質の向上に努めています。また、サムシングはお預かりした個人情報をはじめ、機密情報の安全な運用をお約束するため、情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001) を取得しています。



事業統括本部、技術本部、工事本部、
管理本部 (経理部、総務部)

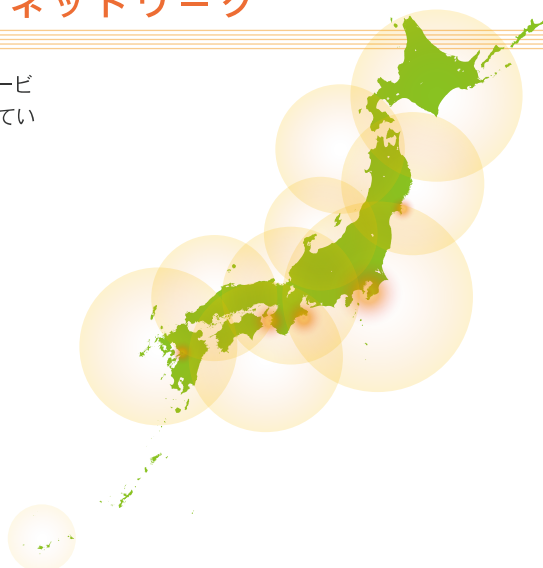
豊富な実績

サムシングの地盤調査・地盤改良件数は年間で34,000件以上。豊富な実績は、信頼の証。長年に亘り培った経験に加え、建築技術審査 (性能) 証明を取得した工法を取り扱うだけでなく、大学や研究機関との連携のもと新たな調査・施工方法や調査・施工機器の研究開発にも取り組んでいます。また、住宅地盤だけでなく、病院、学校など公共施設の地盤調査・改良についても実績をもっています。



全国に広がるサムシングのネットワーク

サムシングは25拠点によって、地盤調査・改良・保証サービスが全国で対応可能。また地盤データベースを保有しているので、各地の特殊地盤にも対応可能です。



ホームページでは詳しい情報を掲載しています



地盤の専門家 株式会社サムシング
SOME THING

<https://www.s-thing.co.jp/>



地盤調査・地盤改良に関する詳細情報をはじめ、全国の施工実績、地盤に関する基礎知識など、各種情報を提供しています。パンフレットなどの資料もダウンロードすることができます。地盤に関するご相談、ご依頼は、お気軽にお問い合わせください。

 **0120-28-3649**

フリーダイヤル 受付時間 9:00~18:00 [平日]

H P 内 お問い合わせフォームからは、24時間365日ご依頼いただけます